# 登米地域の概要



令和5年12月公表 宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所

# 目 次

1	地域の概要 ····································	1
2	人口	2
3	土地	3
4	産業分類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
5	産業構造	5
6	市町村民所得 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	6
7	商業	7
8	工業	8
9	観光	g
10	農業	10
11	畜産	10
12	農村整備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
13	林業	11

# 1 地域の概要

# 〇区域

登米地域は、旧登米郡の迫町、登米町、東和町、中田町、豊里町、米山町、石越町、南方町及び本吉郡津山町の9町が合併し、平成17年4月1日に誕生した登米市をその区域としています。

#### 〇地勢

登米地域は、県の北東部に位置し、東部は気仙沼市及び南三陸町に、西部は栗原市及び大崎市に、南部は石巻市及び涌谷町に、北部は岩手県一関市と7市町に接し、土地面積は約536kmで県土の約7.4%を占めています。東部に北上山系が連なり、西から南東に迫川が流れ、北上川に合流しています。これら2河川の流域に沿って広大な登米耕土が広がり、県内有数の穀倉地帯となっています。

# 〇人口

令和5年4月1日現在の人口は、72,732人で県全体の約3.2%を占めています。 県内での順位は、広域圏別では7圏域中第5位、市町村別では35市町村中第5位となっています。

(出典:令和5年宮城県推計人口(月報))

# ○気候

内陸性気候で令和4年の年間平均気温は12.2℃、年間降水量は1250.0mm、冬季は降水量が少なく、東北地方にあっては、住み良い気象条件にあります。

(観測地点:米山)

(出典:令和4年版宮城県統計年鑑2022)

#### ○鉄道

JR東北本線が北西部の迫町と石越町を、JR気仙沼線が南部の豊里町と津山町を走っています。

# ○道路網

三陸沿岸道路が豊里町、登米町、中田町、東和町を縦貫しており、登米 I C、登米東和 I C、三滝堂 I Cと三滝堂 P A が供用されています。

また、東北自動車道と三陸沿岸道路を結ぶみやぎ県北高速幹線道路が、令和3年度に全線供用開始されました。

一般道路は、国道45号、342号、346号、398号及び456号を中心として、主要地 方道8路線及び一般県道15路線で形成されています。

# 2 人 口

令和5年4月1日現在の登米地域の推計人口は72,732人であり、令和4年4月1日と比較して1,400人減少しています。自然動態では987人(出生327人、死亡1,314人)減少し、社会動態では413人(転入1,442人、転出1,855人)減少しています。

#### - 登米市の自然動態と社会動態-

各年4月1日現在(単位:人)

			自然増減数		社会増減数				
	人口	増減	出生者数	死亡者数	増減	転入者数	転出者数		
令和5年	72,732	-987	327	1,314	-413	1,442	1,855		
令和4年	74,132	-894	372	1,266	-390	1,302	1,692		
令和3年	75,416	-724	417	1,141	-323	1,319	1,642		
令和2年	76,911	-906	410	1,316	-552	1,462	2,014		
平成31年	78,369	-696	429	1,125	-363	1,531	1,894		
平成30年	79,428	-698	495	1,193	-337	1,674	2,011		
平成29年	80,463	-706	510	1,216	-270	1,764	2,034		
平成28年	81,439	-596	523	1,119	-238	1,833	2,071		
平成27年	80,991	-583	556	1,139	-87	1,848	1,935		

資料:宮城県推計人口(月報)

- ※ 平成27年4月までの推計人口は、平成22年国勢調査人口を基礎としているが、平成28年4月からの推計人口は、平成27年の国勢調査人口を基礎に算定
- ※2 自然増減数と社会増減数は前年同月比

「推計人口 = 国勢調査 + 住民基本台帳に基づく日本人及び外国人の自然増減(出生ー死亡) 住民基本台帳に基づく日本人及び外国人の社会増減(転入一転出)

865,200 2,348,165

#### -広域圏別人口-

令和5年4月1日現在(単位:人)

	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼·本吉	県計
人口数	160,646	1,533,164	188,636	61,179	72,732	179,048	69,516	2,264,921
構成比	7.1%	67.7%	8.3%	2.7%	3.2%	7.9%	3.1%	100%

資料:宮城県推計人口(月報)

※3 構成比の合計は、四捨五入の関係で一致しない

#### -広域圏別世帯数-

令和2年10月1日現在(単位:世帯)

2.301.996

	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼·本吉	県計
世帯数	63,475	694,926	72,516	22,697	25,697	74,410	28,802	982,523
構成比	6.5%	70.7%	7.4%	2.3%	2.6%	7.6%	2.9%	100%

資料:令和2年国勢調査(確報)

※4 構成比の合計は、四捨五入の関係で一致しない

人口と世帯数-各年10月1日現在(単位:人,世帯), 旧津山町含む 平成17年 平成22年 平成27年 令和2年 人口 人口 世帯数 世帯数 世帯数 世帯数 登米市 構成比 25,048 76.037 89.316 83.969 25.002 81.959 26.196 25,697 2.8% 3.8% 2 9% 3.6% 2.8% 3.5% 2.6%

901.862 2.333.899

944.720

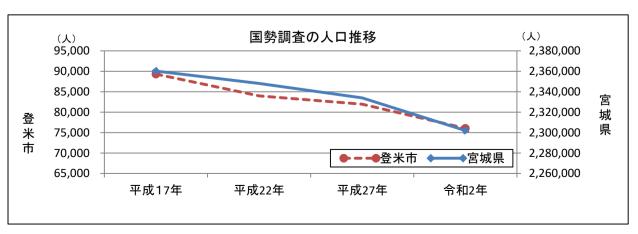
宮城県 | 資料:国勢調査

※5 構成比は県に対しての割合

2,360,218

資料:国勢調査

982.523



# 3 土 地

登米地域の総面積は53,612haで、うち農地(田、畑)32.7%と森林41.2%で全体の7割以上を占めています。また、農地の占める割合は圏域別では1位となっています。

-土地の活用-

令和3年4月1日現在(単位:ha)

	登》	<b>长市</b>	宮切	<b></b>
地 目	面積	構成比	面積	構成比
田	15,600	29.1%	103,372	14.2%
畑	1,940	3.6%	22,068	3.0%
森林	22,064	41.2%	413,713	56.8%
原野等	188	0.4%	3,880	0.5%
河川等	4,365	8.1%	32,969	4.5%
道路	3,627	6.8%	34,738	4.8%
宅地	2,973	5.5%	48,532	6.7%
その他	2,855	5.2%	68,957	9.5%
計	53,612	100%	728,229	100%

資料: 令和4年版宮城県統計年鑑2022

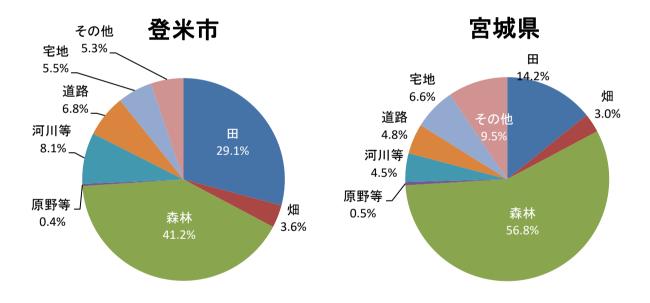
・面積の合計は四捨五入の関係で一致しない

-県域別農地(田・畑)の占める割合-	(単位∶ha)
--------------------	---------

県域	面積	農地	割合
仙南	155,140	16,896	10.9%
仙台	164,886	23,152	14.0%
大崎	152,391	35,556	23.3%
栗原	80,497	17,360	21.6%
登米	53,612	17,540	32.7%
石巻	72,120	12,533	17.4%
気仙沼	49,584	2,403	4.8%
宮城県	728,230	125,440	17.2%

資料:令和4年版宮城県統計年鑑2022

・面積の合計は四捨五入の関係で一致しない



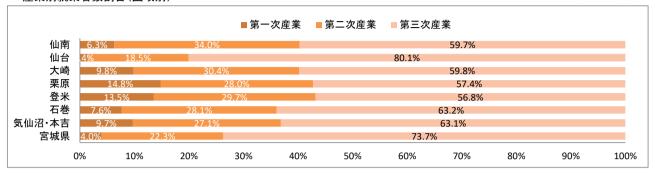
資料: 令和4年版宮城県統計年鑑2022

#### 4 産業分類

登米地域の第一次産業従事者割合は栗原地域に次いで高く、第二次産業も仙南、大崎地域に次いで高い割合になっていますが、第三次産業は県内で最も低い割合となっています。県全体の動向と同様に登米地域でも第一次、第二次産業の割合が減少し、第三次産業の割合が増加しています。

# -産業別就業者数割合(圏域別)-

令和2年10月現在



資料: 令和2年国勢調査就業状態等基本集計結果宮城県の結果概要

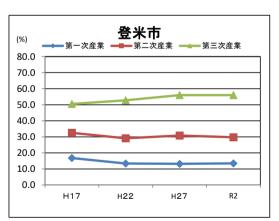
#### -産業別就業者数-

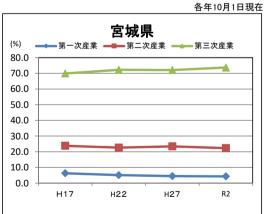
各年10月1日現在(単位:人)

			登 :	米 市			宮坊	成 県	
`		全産業	第一次産業	第二次産業	第三次産業	全産業	第一次産業	第二次産業	第三次産業
平成12年	就業者数	46,401	7,561	17,475	21,353	1,153,411	74,909	308,345	759,343
十八八2千	構成比	100%	16.3%	37.7%	46.0%	100%	6.6%	27.0%	66.5%
平成17年	就業者数	43,598	7,335	14,178	22,001	1,107,773	68,985	260,754	765,734
十八八十	構成比	100%	16.9%	32.6%	50.6%	100%	6.3%	23.8%	69.9%
平成22年	就業者数	39,412	5,277	11,472	20,797	1,059,416	53,219	234,210	746,752
十八八22十	構成比	100%	14.1%	30.6%	55.4%	100%	5.1%	22.6%	72.2%
平成27年	就業者数	41,964	5,212	12,158	22,128	1,077,927	47,017	246,510	760,125
十八八二十	構成比	100%	13.2%	30.8%	56.0%	100%	4.5%	23.4%	72.1%
令和2年	就業者数	40,487	5,452	12,025	23,010	1,181,118	47,651	263,229	870,238
ጉ ኅሀረ ተ	構成比	100%	13.5%	29.7%	56.8%	100%	4.0%	22.3%	73.7%

資料:令和2年国勢調査就業状態等基本集計結果宮城県の結果概要

- ※1 全産業の就業者数には、分類不能の産業の就業者数も含むため、各産業の合計と一致しない
- ※2 各産業の構成比は分類不能の産業の就業者数を除いた割合
- ※3 分類不能の産業とは、主として調査票の記入が不備であって、いずれに分類すべきか不明の場合又は記入不詳で分類しえないもの





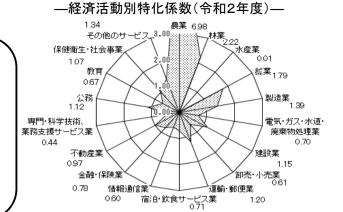
資料: 令和2年国勢調査就業状態等基本集計結果宮城県の結果概要

# 5 産業構造

宮城県を1.00とした経済活動別の特化係数で登 米地域の産業構造をみると、農業が6.98と最も 高く、次いで林業2.22、鉱業1.79と続きます。

経済活動別の構成比をみると、製造業が22.6% で最も高く、次いで不動産業12.3%、建設業9.5% と続きます。

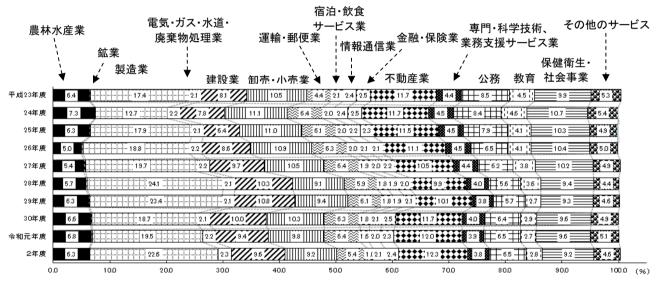
経済成長率は1.9%減(30年度1.1%減)となり、3年連続のマイナス成長となりました。主に運輸・郵便業のマイナスが要因となりました。



資料:令和2度宮城県市町村民経済計算

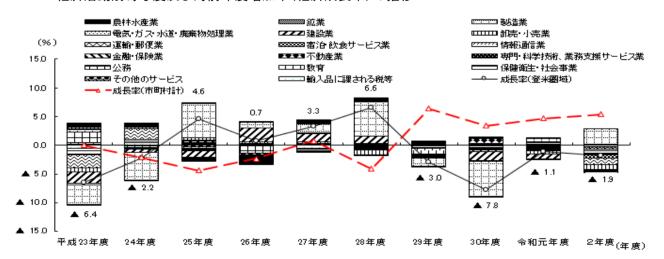
※1特化係数とは、県平均と比較してどの程度偏っているか(特化しているか)を見る指標で、産業構造の特徴を把握するために使われるもの。県の経済活動別構成比を1.00として、それよりも高ければ県平均に比べ相対的に特化しているといえる。

#### ―経済活動別総生産の構成比の推移―



※2 加算・控除項目である関税等が含まれるため、数字の合計は100%とならない。 資料:令和2度宮城県市町村民経済計算

#### ―経済活動別寄与度及び対前年度増加率(経済成長率)の推移―

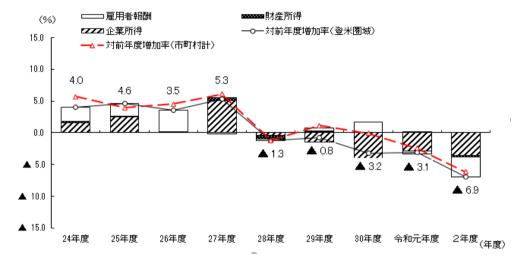


資料:令和2年度宮城県市町村民経済計算

# 6 市町村民所得

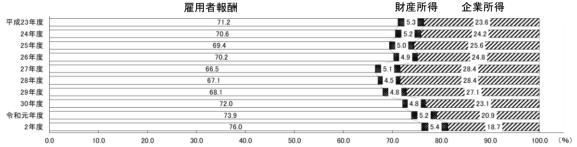
登米地域の令和2年度市町村民所得の対前年度増加率は6.9%減(平成30年度は3.2%減)となり、2年連続の減少となりました。増減要因を寄与度で見ると、企業所得のマイナスが要因となりました。各項目別の構成比をみると、雇用者報酬が76.0%、企業所得が18.7%、財産所得が5.3%となりました。一人当たり市町村民所得は2,218千円(対県比79.2%)となりました。

#### -市町村民所得 項目別寄与度および対前年度増加率の推移-



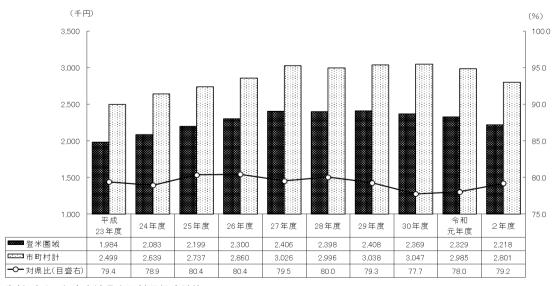
資料:令和2度宮城県市町村民経済計算

#### -市町村民所得 項目別構成比の推移-



資料:令和2年度宮城県市町村民経済計算

#### -一人当たり市町村民所得の推移-



資料: 令和2年度宮城県市町村民経済計算

# 7 商業

登米地域の平成28年6月1日現在の事業所数(卸売業, 小売業)は887店, 従業者5,170人, 年間商品販売額135,572 百万円となっており, 前回調査と比べ全ての項目が増加しています。旧迫町を中心とした「旧迫商圏」は地域型商圏を 形成しており、令和3年10月調査時の1次商圏の吸引人口は約3万7千人と前回調査時(平成30年)より減少していま す。

#### - 卸売・小売業別事業所数等-

(単位:店.人.百万円)

		総 数		卸 売 業			小 売 業			
登米市計	事業所	従業者	年間商品 販売額	事業所	従業者	年間商品 販売額	事業所	従業者	年間商品 販売額	
平成24年	919	5,091	108,642	120	736	28,230	799	4,355	80,413	
平成26年	857	4,948	113,048	117	788	28,470	740	4,160	84,578	
平成28年	887	5,170	135,572	126	761	43,708	761	4,409	91,864	
構成比	4.0%	2.8%	1.2%	1.8%	1.2%	0.5%	5.0%	3.7%	3.3%	
平成28年 宮 城 県	22,103	184,540	11,554,910	6,858	64,898	8,782,579	15,245	119,642	2,772,330	

資料: 平成26年宮城県の商業(確報), 平成28年経済センサス-活動調査(確報)

#### - 登米地域の商圏(旧迫商圏)-

令和3年10月(単位:人)

* <b>*</b> * * * * * *	吸引率		市町	村別		旧迫商圏計	
商圏範囲	(%)	市町村	吸引率(%)	商圏人口	吸引人口	商圏人口	吸引人口
		旧 迫 町旧米山町	69.3 42.2	19,741	13,681 3,599		
	30以上	旧南方町	42.2 44.6	8,528 8,288	3,696		
1次商圏	平均 55.4	旧東和町	45.2	5,760	2,604	5	36,937
		旧登米町	47.1	4,532	2,135		
		旧中田町	58.9	15,243	8,978		
		旧石越町	48.9	4,588	2,244		
	15~30未満	旧若柳町	28.1	11,434	3,213		
2次商圏		旧豊里町	21.5	6,332	1,361	28,923	6,744
	平均 23.3	旧志津川町	21.1	8,132	1,716	20,323	0,744
		旧津山町	15.0	3,025	454		
		旧瀬峰町	13.6	4,145	564		
	5~15未満	旧高清水町	7.5	3,484	261		
3次商圏	平均 6.8	旧志波姫町	6.3	6,536	412	31,438	2,146
	十均 0.6	旧歌津町	5.8	4,093	237		
		旧築館町	5.1	13,180	672		
商圏計	平均36.1		16	127,041	45,827		

資料: 令和4年宮城県の商圏

圏: 買回品の購買先支持率を基準に地元購買率が30%以上で、かつ吸引率が15%以上の市区町 村を有する場合を商圏が形成されていると定義する

買回品: 衣料品, 靴・バック・アクセサリー、スポーツ・レジャー用品, 書籍・文房具, 玩具・ゲーム, 家具・インテリア用品, 家電・パソコン類, 贈答品。
吸引率: アンケート回答者がどこの市区町村を買回品の買物先としているかを居住市区町村毎に算出

し、商圏中心市町村から見てどの程度他市区町村から買物客の流入があるかを示した割合

1次商圏:商圏中心市区町村に対する購買先支持率が30%以上の市区町村の範囲2次商圏:商圏中心市区町村に対する購買先支持率が15%以上30%未満の市区町村の範囲 3次商圏: 商圏中心市区町村に対する購買先支持率が5%以上15%未満の市区町村の範囲

<sup>※</sup>構成比は県に対しての割合

<sup>※</sup>商圏人口は、令和2年10月1日現在の国勢調査による

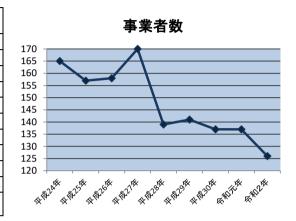
# 8 工 業

登米地域の令和2年の事業所数(従業者4人以上)は126事業所で、前年に比べ11事業所減となっています。従業者数は4,995人で前年に比べ852人減少しています。製造品出荷額等は1,164億円で前年に比べ95億減となっています。令和2年について業種別にみると、事業所数は食料品製造業が最も多く、次いで窯業・土石製品製造業の順になっています。

従業者数は電子部品・デバイス・電子回路製造業が最も多く、次いで食料品製造業の順となっています。製造品出荷額等は金額を秘匿した業種を除き、食料品製造業が最も多く、次いで電子部品・デバイス・電子回路製造業の順となっています。

#### - 事業所(従業者4人以上)数等。

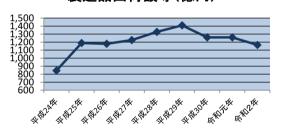
- 争 来 川 ( 1/4	<b>L耒白4人以</b> 」	C)	
登米市	事業所数	従業者数(人)	製造品 出荷額等(億円)
平成24年	165	4,746	845
平成25年	157	5,581	1,189
平成26年	158	5,536	1,179
平成27年	170	5,865	1,226
平成28年	139	5,955	1,328
平成29年	141	6,263	1,409
平成30年	137	5,943	1,259
令和元年	137	5,847	1,259
令和2年	126	4,995	1,164
県内構成比	5.3%	5.2%	2.9%
令和2年 宮 城 県	2,593	111,794	43,579



#### 従業者数(人)

7,000 6,000 5,000 4,000 3,000 4,000 3,000

製造品出荷額等(億円)



・資料:令和元年宮城県の工業(確報)

令和2年市町村別事業所数,従業者数,製造品出荷額等の構成比



・資料: 令和2年宮城県の工業(確報)

令和2年事業所数, 従業者数, 製造品出荷額等の業種別構成比(登米圏)



・資料: 令和2年宮城県の工業(確報)

# 9 観 光

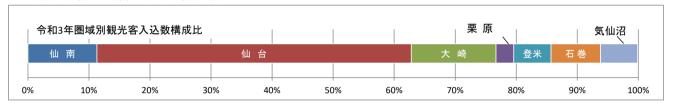
令和3年の登米地域の観光客入込数は2,753,836人で前年から、12.2%増加しました。 「おかえりモネ」による集客効果や、三陸沿岸道路周辺の観光地点として、長沼フートピア公園、伝統芸能 伝承館、道の駅三滝堂等が増加しています。

- 圏域別観光客入込数の推移-

圏	域名	平成22年 (参考:震災前)	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	構成比 (令和3年)
仙	南	5,672,275	6,360,837	6,019,426	6,090,632	6,196,045	6,191,316	7,181,768	4,899,180	5,070,402	11.3%
仙	台	33,680,039	32,696,184	35,572,173	35,041,545	35,348,115	35,945,578	36,788,626	18,533,586	23,146,891	51.5%
大	崎	9,973,999	9,327,858	9,132,009	9,440,422	9,450,346	9,349,384	9,406,088	6,589,648	6,266,889	13.9%
栗	原	1,131,684	1,543,320	1,891,606	2,007,132	1,874,305	1,951,020	1,900,378	1,360,85	1,310,278	2.9%
登	米	2,772,121	2,665,853	2,709,527	2,743,642	2,981,677	3,243,329	3,471,193	2,453,315	2,753,836	6.1%
石	巻	4,431,597	2,827,569	3,176,802	3,354,568	3,577,275	4,598,768	5,501,758	3,370,245	3,642,496	8.1%
気	仙 沼	3,624,219	2,002,841	2,154,041	2,159,695	2,868,600	2,945,091	3,710,707	2,241,202	2,754,950	6.1%
県		61,285,934	57,424,462	60,655,584	60,837,636	62,296,363	64,224,486	67,960,518	39,448,031	44,945,742	100%

資料:令和3年観光統計概要

※ 合計は、四捨五入の関係で一致しない場合がある



資料:令和3年観光統計概要

#### -地点別観光客入込数-

施設名	平成22年 (参考:震災前)	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
長沼 (フートピア公園, ヴィーナスの湯)	412,394	406,555	365,170	383,630	389,745	427,597	429,410	319,415	394,242
みやぎの明治村	177,291	40,842	43,295	35,194	37,192	36,961	40,785	24,733	45,312
道の駅 米山	160,593	177,206	238,443	244,257	251,675	263,418	261,993	237,831	208,920
道の駅 みなみかた	344,225	362,801	397,285	395,342	365,402	359,492	337,054	303,095	134,973
道の駅 津山	334,812	358,670	368,484	366,532	329,956	210,825	297,027	230,667	228,513
道の駅 林林館	280,433	298,234	305,905	287,340	209,680	212,384	166,495	120,551	112,556
道の駅 三滝堂	_	_	_	_	332,571	633,201	648,184	457,028	903,221

資料令和3年観光統計概要

#### - 圏域別宿泊観光客数の推移-

圏	域名	平成22年 (参考:震災前)	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	構成比 (令和3年)
仙	南	606,582	665,735	630,237	655,887	698,244	613,286	709,961	405,945	417,109	7.1%
仙	台	5,649,457	6,383,479	7,048,357	6,828,006	7,004,845	7,066,874	7,421,068	4,350,430	4,349,635	74.4%
大	崎	926,514	878,779	844,711	856,444	849,592	784,555	767,571	468,266	391,873	6.7%
栗	原	86,809	110,820	110,587	123,058	115,526	114,837	105,266	54,992	66,966	1.1%
登	米	25,594	52,310	78,280	88,945	74,528	71,842	88,597	53,003	54,772	0.9%
石	巻	311,269	184,459	220,326	244,664	365,461	360,310	378,992	229,721	234,419	4.0%
気	仙 沼	440,916	340,288	356,097	419,749	423,489	395,893	416,198	303,381	328,373	5.6%
県	計	8,047,141	8,615,870	9,288,595	9,216,753	9,531,685	9,407,597	9,887,653	5,865,738	5,843,147	100%

資料: 令和3年観光統計概要 ※ 合計は、四捨五入の関係で一致しない場合がある

# 10 農業

登米地域は米と畜産で農業産出額の8割以上を占めています。

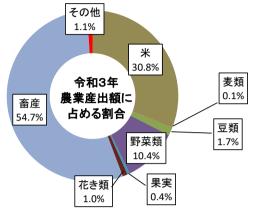
令和3年の農業産出額については、畜産が飼育頭数の増加や販売単価の上昇により産出額は伸びていますが、米の仮渡金単価の大幅な下落や野菜類の販売単価の下落、果実の凍霜害による出荷量減少等の影響により、総産出額は減額となりました。また、農業従事者数、農家数とも年々減少傾向にあります。

#### -登米市農業産出額(市推計値)-

(単位:百万円)

	米	麦類	豆類	野菜類	果実	花き類	畜産	その他	計
令和3年	8,969	32	482	3,016	125	277	15,936	306	29,143

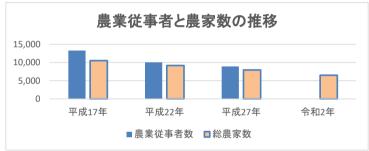
登米市調べ



-登米市の農業従事者数と農家数の推移-

	農業従事者 数	総農家数
平成17年	13,277	10,527
平成22年	10,059	9,177
平成27年	8,923	7,965
令和2年	×	6,498

(単位 人,戸)旧津山町含む



資料:農林業センサス

※令和2年については、農業就業人口の調査項目が廃止されたため、データなし。

# 11 畜 産

登米地域は畜産が盛んな地域で、肉用牛、豚における戸数及び飼養頭数は市町村別で第1位となっています。

#### -主要家畜飼養頭数-

令和4年2月1日現在(単位:戸,頭)

	~ 12C-NN					
広域圏	乳月		肉用			豚
広域固	戸数	飼養頭数	戸数	飼養頭数	戸数	飼養頭数
仙南	107	6,223	213	15,780	16	41,482
仙台	34	1,406	141	4,095	4	120
大崎	140	5,996	810	16,479	46	45,553
栗原	27	1,049	519	8,383	12	38,261
登米	41	1,964	638	28,645	37	51,076
気仙沼	21	762	108	1,368	х	x
石巻	17	601	145	5,098	8	5,500
県計	387	18,001	2,574	79,848	123	181,992

参考資料:飼養衛生管理基準に基づく定期報告集計

※戸数5戸未満の畜種は、秘匿措置として「×」表示としている。(集計から除外)

-市町村別家畜飼養戸数及び頭数ベスト3-

令和4年2月1日現在

	中引 门							
	順位	乳月		肉用		豚		
		戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	
	1	大崎市	大崎市	登米市	登米市	登米市	登米市	
	2	登米市,加美町	登米市	栗原市	大崎市	大崎市	栗原市	
	3		丸森町	大崎市	栗原市	栗原市	大崎市	

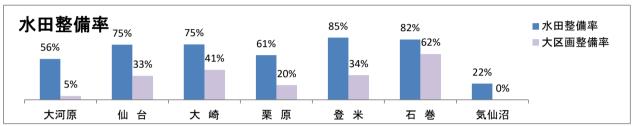
参考資料:家畜改良関係飼養頭羽数調査

#### 12 農村整備

登米地域の水田整備率は85%と県平均を大きく上回り、圏域別では最も高い割合となっています。また、大区画の整備率は水田面積の34%を占めています。

- 水田整備	<b>計状況</b> -		令和4年	度実績見込	み(単位:ha)
	水田面積	水	田整	備	率
				うちメ	区画
	(ha)	整備済水田面積	整備率	整備済水田面積	整備率
大河原	11,890	6,604	56%	618	5%
仙台	20,849	15,653	75%	6,803	33%
大 崎	31,940	24,086	75%	13,006	41%
栗原	16,100	9,781	61%	3,224	20%
登 米	16,400	13,862	85%	5,506	34%
石 巻	11,405	9,351	82%	7,097	62%
気仙沼	1,693	372	22%	4	0%
県計	110,277	79,709	72%	36,257	33%

- ・整備済水田面積とは、20a区画以上に整備された水田面積・大区画整備済水田面積とは、50a区画以上に整備された水田面積及びほ区均平により畦畔を除去した場合50a区画以上となる整備済水田面積
- ・整備値表示としているため必ずしも計は一致しない
- ・水田面積は耕地面積のうちの水田面積を表す
- ※1 東日本大震災津波被災地域の農地転用面積等の整理 が必要であり、整備済面積は参考値扱い



資料:宮城県農村振興課調べ

## 13 林 業

登米地域の森林面積の割合は41%と圏域別では最も低いものの、地域森林計画対象民有林に占める人工林の割合は約69%と県平均を大きく上回り、圏域別では最も高い割合を占めています。

-圏域別	森林面積-
------	-------

(単位:ha)

	総面積	森林面積	森林面積	国有林	Ē	民 有 材	<b>,</b>	地域森林計画対象民有林
	心田假	林小田頂	割合	四有杯	総数	公有林	私有林	に占める人工林率
大河原	155,140	105,881.80	68%	35,623.75	70,258.05	10,547.96	59,710.09	49.7%
仙台	164,886	82,227.64	50%	26,375.13	55,852.51	7,581.76	48,270.75	40.2%
大崎	152,391	84,768.60	56%	37,274.19	47,494.41	12,009.32	35,485.09	56.3%
栗原	80,500	44,184.79	55%	14,141.94	30,042.85	4,449.91	25,592.94	56.8%
石巻	72,120	39,088.31	54%	8,738.97	30,349.34	4,143.82	26,205.52	56.7%
登米	53,612	22,074.04	41%	2,659.43	19,414.61	3,811.38	15,603.23	68.6%
気仙沼	49,584	36,235.25	73%	5,972.74	30,262.51	7,220.01	23,042.50	63.1%
県計	728,233	414,460.43		130,786.15	283,674.28	49,764.16	233,910.12	53.2%

資料:令和4年度版みやぎの森林・林業のすがた

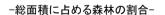
- ※3 地域森林計画対象民有林とは、「全国森林計画(森林法第4条)」に即して、都道府県知事が5年ごとに10年を1期として、対象となる森林の区域、森林の整備及び保全の目標などを定める「地域森林計画(森林法第5条)」の対象となる民有林を指す
- ※4 四捨五入の関係で、面積の合計が一致しない場合がある

- 特用林産物 - 令和3年(単位:トン)

品目	登米市	構成比	宮城県
乾しいたけ	0.8	8.0%	10
まいたけ	21	30.4%	69
木 炭	30	48.4%	62

資料:令和4年度版みやぎの森林・林業のすがた

※5 構成比は県に対しての割合





資料: 令和4年度版みやぎの森林・林業のすがた